

団体名	特定非営利活動法人 中央アジア森林草地保全研究所
活動地域	中央アジア・タジキスタン
団体概要	ソ連崩壊後の中央アジア諸国では急速な自由主義経済の導入によって森林や草地等が荒廃している。地域住民は自然環境の質の変化に大きく依存した生活を余儀なくされている。それに加えて、放牧は最近の気候変動によって大きな影響を受けている。これまでの経験値を超える大きな影響だ。環境劣化の原因は過度な放牧であり、土壌崩壊である。これまで地元住民や NGO と協力して、果樹園の栽培や家庭菜園を利用した苗木の生産を通して、現金収入に貢献すると共に、里山の持続可能な自然環境の修復と保全に努めている。本年の計画では、果樹園造成活動を継続しつつ、気候変動に備えた針葉樹林(Juniper 属)の本格的な保全活動を開始したい。

<p>写真①</p> 	<p>写真②</p> 
<p>説明①</p> <p>首都(Dushanbe)に最も近い、Duoba サイトにおけるりんご園。2012 年から開始。植樹祭も実施</p>	<p>説明②</p> <p>Duoba サイトにおけるりんご園 植栽後 5 年目で大豊作。収穫物、収益金は参加者で分け合う。</p>
<p>写真③</p> 	<p>写真④</p> 
<p>説明③</p> <p>乾燥が進んだ Esanboy サイトでは、アプリコットからアイーモンドに樹種転換。周囲の草原は乾燥化が進み、植生が後退。乾燥に耐える樹木の植林が始まる。</p>	<p>説明④</p> <p>Esanboy サイト。アプリコットの苗畑で稚樹を育成し、2 年後に、現地に移植。最近急速に乾燥化が進み、期待した成長が得られない。通常なら 3 年で果実がしゅうかくできるのだが。</p>

写真④



説明③

Madrushkat サイト サマルカンドを流れ、アラル海に注ぐ大河アマダリア上流のアプリコット園。薬剤噴霧作業

写真⑤



説明④

Madrushkat サイトのリンゴ園 十分市場価値のあるリンゴが主格できる。日本の「ふじ」に似た味。